

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【公表番号】特表2000-505179(P2000-505179A)

【公表日】平成12年4月25日(2000.4.25)

【出願番号】特願平9-519206

【国際特許分類第7版】

F 1 6 H 47/04

【F I】

F 1 6 H 47/04

D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成15年7月14日(2003.7.14)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】補正の内容のとおり

【訂正方法】変更

【訂正の内容】



誤 訳 訂 正 書

(19,000 円)



平成 15 年 7 月 14 日

特許庁長官 殿



1 事件の表示

平成 9 年特許願第 5 1 9 2 0 6 号

2 特許出願人

住 所 アメリカ合衆国、バージニア州 22042-4523、
 フォールズ・チャーチ、フェアビュー・パーク・ドライブ
 3190

名 称 ジェネラル・ダイナミクス・ディフェンス・システムズ
 ・インク

3 代 理 人

住 所 東京都千代田区永田町 1 丁目 11 番 28 号
 相互永田町ビルディング 8 階
 電話 3581-9371

氏 名 (7101) 弁理士 山 崎 行 造

4 訂正対象書類名

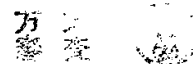
明細書及び請求の範囲

5 訂正対象項目名

明細書及び請求の範囲

6 訂正の内容

別紙の通り



【誤訳訂正 1】

明細書 21 ページ 20 行「油圧ポンプ 72 とモータ 78 ユニットの間の斜板ポート 84a を通る加圧された流体のポンピングされた交換分は、」を「斜板のポート(84a) を通って加圧された流体が油圧ポンプ 72 とモータ 78 ユニットの間で大量に循環することは、」に訂正する。

【誤訳訂正 2】

明細書 21 ページ 22 行「出力の油圧トルクとして、カップリング 86 によって出力シャフト 76 に結合されるような斜板 84 に合成トルクを生じさせる。」を「カップリング 86 によって出力シャフト 76 に結合されている斜板 84 に、油圧によるトルク出力として、合成トルクを生じさせる。」

【誤訳訂正 3】

請求の範囲を以下の通り訂正する。

「1. オペレータ速度命令を受取るトランスミッションコントローラ(70)を備えるタイプの車両用のマルチレンジの流体力学的トランスミッションであって、

主たる駆動部への接続を推進する第 1 の機械的入力(22)と一方向の油圧出力を持つ油圧伝導ユニット(4)であって、前記トランスミッションコントローラによる制御のための動作が可能なように接続されて、前記第 1 の機械的入力の速度と油圧出力の速度との間に、1 : 0 から 1 : 1 までの連続する範囲にわたる無段変速のトランスミッション比を提供する油圧伝導ユニット(4)と、

主たる駆動部(6)への接続を推進する第 2 の機械的入力(26)(92)と負荷(12)への接続のためのトランスミッション出力(10)とを持つ機械的パワーユニットであって、

第 1 の歯車比で前記第 2 の機械的入力に接続された第 1 の歯車要素(S1)と、第 2 及び第 3 の歯車要素(R1,C1)とを備える第 1 の衛星歯車の組(14)(102)と、

該第 1 の衛星歯車の組の第 3 の歯車要素(C1)に接続された第 4 の歯車要素(C2)と、前記油圧出力に接続された第 5 の歯車要素(S2)と、第 2 の歯車比で前記第 2 の機械的入力に接続可能な第 6 の歯車要素(R3)(S3)と、前記トランスミッション出力に接続された第 7 の歯車要素(C3)とを持つ第 2 及び第 3 の相互結合された衛星歯車の組(16,18)(104,106)を含む組合せ歯車機構と、

オペレータ入力速度命令に応答して前記トランスミッションコントローラ(70)によって作動されて、第1、第2及び第3の衛星歯車の組(14,16,18)(102,104,106)の内の選択された歯車要素にブレーキをかけ、さらに／又はその歯車要素をクラッチでつなぎ、それにより、少なくとも1つの逆方向レンジ及び少なくとも第1、第2及び第3の前進方向レンジの各々の中で、トランスミッション出力に、無段変速の出力を生じさせるレンジシフト手段とを備える車両用の多数レンジの流体力学的トランスミッションにおいて、

前記レンジシフト手段が第1のブレーキ(B1)、(B7)を備えており、該第1のブレーキが前記トランスミッションコントローラ(70)によって作動されて前記第2及び第3の衛星歯車の組(16,18)(104,106)の前記第6の歯車要素(R3)、(S3)を接地し、それにより、前記油圧伝導ユニットのトランスミッション比が前記トランスミッションコントローラによって1:0に設定されている間、前記トランスミッション出力にトランスミッションニュートラル状態を確立し、さらに、1:0以外のトランスミッション比の油圧出力の無段階可変速度に正方向に関係して前記第1の前進方向レンジにおいてトランスミッション出力に無段階変速の出力を生じさせる車両用多数レンジの流体力学的トランスミッション。

2. 請求項1のトランスミッションにおいて、

前記レンジシフト手段は、さらに、

前記コントローラ(70)によって作動され、前記第1の衛星歯車の組(14)の前記第3の歯車要素(C1)及び前記第2及び第3の衛星歯車の組(16,18)の前記第4の歯車要素(C2)を接地し、それにより、1:0以外のトランスミッション比の前記油圧出力の無段階可変速度に正方向に関係して前記逆方向レンジにおいて前記トランスミッション出力に無段変速の出力を生じさせる第2のブレーキ(B3)と、

前記コントローラ(70)によって作動され、前記第1の衛星歯車の組(14)の前記第2の歯車要素(R1)を接地し、それにより、前記油圧出力の無段階可変速度に逆方向に関係して前記第2の前進方向レンジにおいて前記トランスミッション出力に無段変速の出力を生じさせる第3のブレーキ(B2)と、

前記コントローラ(70)によって作動され、第2の歯車比で前記第6の歯車要素(R3)を前記第2の機械的入力に結合し、それにより、前記油圧出力の無段階可変

速度に正方向に関係して前記第3の前進方向レンジにおいて前記トランスミッション出力に無段階変速の出力を生じさせる第1のクラッチと、
を備え、

前記第1及び第2の歯車比並びに 前記第1、第2及び第3の衛星歯車の組(14,16,18)の歯車比が整合された値を持っており、それにより、前記コントローラ(70)が、前記主たる駆動部の入力速度及び前記油圧伝導ユニットのトランスミッション比に関連するタイミングで、前記第1及び第3のブレーキ(B1,B2)並びに第1のクラッチ(CL1)に係合及び係合の解除を行うことができ、それにより、第1及び第2の前進方向レンジの間と、前記第2及び第3の前進方向レンジの間とで同期シフトを達成するトランスミッション。

3. 請求項2のトランスミッションにおいて、

前記第1の歯車要素は第1の太陽歯車(S1)で、前記第2の歯車要素は第1のリングギヤ(R1)で、前記第3及び第4の歯車要素はそれぞれ第1及び第2の衛星歯車キャリア(C1,C2)で、前記第5の歯車要素は第2の太陽歯車(S2)で、前記第6の歯車要素は第2のリングギヤ(R3)で、前記第7の歯車要素は第3の衛星歯車キャリア(C3)であり、

前記第2の衛星歯車キャリア(C2)は前記第2の衛星歯車の組(16)に含まれており、該第2の衛星歯車の組は、さらに、前記第3の衛星歯車(18)の組に含まれた第3の衛星歯車キャリア(C3)に固定的に接続されている第3のリングギヤ(R2)を含み、

前記第3の衛星歯車の組(18)は、前記第2の衛星歯車の組(16)に含まれた第2の太陽歯車(S2)に固定的に接続されている第3の太陽歯車(S3)を含む、
トランスミッション。

4. 請求項1のトランスミッションにおいて、

前記第1の歯車要素は第1の太陽歯車(S1)で、前記第2の歯車要素が第1のリングギヤ(R1)で、前記第3及び第4の歯車要素はそれぞれ第1及び第2の衛星歯車の組(14,16)の第1及び第2の衛星歯車キャリア(C1,C2)で、前記第5の歯車要素は第2の衛星歯車の組(16)の第2の太陽歯車(S2)で、前記第6の歯車要素は第3の衛星歯車の組(18)の第3の太陽歯車(S3)で、前記第7の歯車要素は第3の衛

星歯車の組の第3の衛星歯車キャリア(C3)であり、

前記第2の衛星歯車の組(16)は、第3の衛星歯車キャリア(C3)に固定的に接続された第2のリングギヤ(R2)を含み、前記第3の衛星歯車の組(18)は、前記第1及び第2の衛星歯車キャリアに共通して固定的に接続された第3のリングギヤを含む

トランスミッション。

5. 請求項1のトランスミッションにおいて、前記第1の歯車要素は第1の太陽歯車(S1)で、前記第2の歯車要素は第1のリングギヤ(R1)で、前記第3及び第4の歯車要素は、それぞれ、前記第1の衛星歯車の組(14)の第1の衛星歯車キャリア(C1)及び前記第2及び第3の衛星歯車の組の第2のリングギヤ(R3)で、前記第5の歯車要素は前記第2の衛星歯車の組の第2の太陽歯車(S2)で、前記第6の歯車要素は前記第3の衛星歯車の組の第3の太陽歯車(S3)で、前記第7の歯車要素は前記第2及び第3の衛星歯車の組の複合衛星歯車キャリア(C2-C3)との組合せであるトランスミッション。

6. 請求項2のトランスミッションにおいて、

前記レンジシフト手段は、さらに、

前記コントローラ(70)によって作動され、第3の歯車比で前記第2の歯車要素(R1)を前記第2の機械的入力に結合し、それにより、油圧入力の無段階可変速度に逆方向に関係して第4の前進方向のトランスミッションレンジにおいてトランスミッション出力に無段階可変出力速度を生じさせる第2のクラッチ(CL2)と、

前記コントローラ(70)によって作動され、第4の歯車比で前記第6の歯車要素(R3)を前記第2の機械的入力に結合し、それにより、油圧出力の無段階可変速度に正方向に関係して第5の前進方向のトランスミッションレンジにおいてトランスミッション出力に無段階可変出力速度を生じさせる第3のクラッチ(CL3)と、を備え、

前記第1から第4までの歯車比並びに前記第1から第3までの衛星歯車の組の歯車比が整合された値を持っており、それにより、前記コントローラが、前記主たる駆動部の入力速度及び前記油圧伝導ユニットのトランスミッション比に関連するタイミングで、前記第1から第3までのブレーキ(B1-B3)並びに第1から第

3までのクラッチ(CL1-CL3)を作動させることができ、それにより、第1から第5までの前進方向レンジを通じて加速を行う間に同期レンジシフトを達成するトランスミッション。

7. 請求項2のトランスミッションにおいて、油圧伝導ユニット(4)は、

前記第1の機械的入力を接続状態にする入力シャフト(22,74)と、

軸線を持っていて油圧出力が引き起こされる出力シャフト(20,76)と、

前記入力シャフトによって駆動される油圧ポンプユニット(72)と、

固定の油圧モータユニット(78)と、

くさび状の斜板(84)であって、該斜板のポート(84a)を通して作動流体が前記流体力学的ポンプとモータユニットとの間で大量に循環するのを調整するために、該斜板が動作可能に配置されており、該斜板は前記出力シャフトとトルク結合関係に接続されていて、さらに、該斜板の角度の連続範囲にわたって、前記出力シャフトと直交するように横切る旋回軸線の周りに、その角度が調整可能であるくさび状の斜板(84)と、

前記トランスミッションコントローラ(70)から操作されて前記斜板の角度の範囲の中で前記斜板を旋回し、それにより、1:0から1:1までのトランスミッション比の範囲にわたって前記油圧伝導ユニットにストロークを与える比率制御器と、

を備えるトランスミッション。

8. 請求項1のトランスミッションにおいて、前記第1及び第2の衛星歯車の組(14,16)の歯車比は等しく、前記第3の衛星歯車の組(18)の歯車比よりも+1まで大きいトランスミッション。

9. 請求項1のトランスミッションにおいて、

前記機械的パワーユニットは、さらに、前記第1の衛星歯車の組の第1の歯車要素(S1)とともに第1の歯車比で第2の機械的入力を接続された第8の歯車要素(C4)と、第9及び第10の歯車要素とを含む第4の衛星歯車の組(100)を備え、

前記組合せ歯車機構は、さらに、前記第1(102)及び第2(104)の衛星歯車の組相互に連結された第3(C1)及び第4(C2)の歯車要素に接続された第11の歯車要素(R3)と、第7の歯車要素(C3)とともにトランスミッションの出力に接続された

第12の歯車要素(R2)とを備え、

さらに、前記レンジシフト手段は、

前記第1のブレーキ(B7)と協調して前記トランスミッションコントローラ(70)によって作動される第1のクラッチ(CL5)であって、前記第4の衛星歯車の組(100)の第8(C4)及び第9(R4)の歯車要素を相互に連結し、それにより、前記トランスミッションコントローラによって設定された油圧伝導ユニットのトランスミッション比が1:0である間にトランスミッションのニュートラルを達成してゼロの油圧出力速度を生じさせ、さらに、1:0以外のトランスミッション比に対し前記第1の出力シャフトにおける無段階可変の油圧出力速度と正方向に関係して第1の前進方向のトランスミッションのレンジにおいて前記トランスミッション出力(10)に無段階可変の出力速度を生じさせる第1のクラッチと、

前記トランスミッションコントローラによって前記第1のクラッチ(CL5)と協調して作動される第2のブレーキ(B5)であって、前記第1の衛星歯車の組(102)の第2の歯車要素(R1)を設置するとともに、前記第4の衛星歯車の組(100)の前記第8(C4)及び第9(R4)の歯車要素を相互に連結し、それにより、前記油圧伝導ユニット(4)の無段階の可変な油圧出力速度と逆方向に関係して第2の前進方向レンジにおいて前記トランスミッション出力に無段階の可変出力速度を生じさせる第2のブレーキ(B5)と、

前記トランスミッションコントローラによって協調して作動される第3(B4)及び第4(B6)のブレーキであって、第9の歯車要素(R4)と結合された第3(C1)、第4(C2)、及び第7(R3)の歯車要素とをそれぞれ接地し、それにより、前記油圧伝導ユニット(4)の無段階の可変な油圧出力速度と正方向に関係して第1の逆方向レンジにおいて前記トランスミッション出力(10)に無段階の可変出力速度を生じさせる第3(B4)及び第4(B6)のブレーキと、

前記トランスミッションコントローラによって前記第3のブレーキ(B4)と協調して作動される第2のクラッチ(CL4)であって、前記第6の歯車要素(S3)を第2の歯車比で第2の機械的入力に接続するとともに、前記第9の歯車要素(R4)を接地し、それにより、前記油圧伝導ユニット(4)の無段階の可変な油圧出力速度と逆方向に関係して第2の逆方向レンジにおいて前記トランスミッション出力(10)に

無段階の可変出力速度を生じさせる第2のクラッチ(CL4)と、
を備え、

前記トランスミッションコントローラ(70)は、

前記第1及び第2のクラッチ(CL5,CL4)を協調して作動して前記油圧伝導ユニット(4)の無段階の可変な油圧出力速度と正方向に關係して第3の前進方向レンジにおいて前記トランスミッション出力(10)に無段階の可変出力速度を生じさせ、さらに、

前記第2(B5)及び第3(B4)のブレーキを協調して作動して前記油圧伝導ユニット(4)の無段階の可変な油圧出力速度と正方向に關係して第3の逆方向レンジにおいて前記トランスミッション出力(10)に無段階の可変出力速度を生じさせる、トランスミッション。

10. 請求項9のトランスミッションにおいて、

前記第1(S1)、第2(R1)、及び第3(C1)の歯車要素は、それぞれ、前記第1の衛星歯車の組(102)の太陽歯車、リングギヤ、及び衛星歯車キャリアであり、

前記第4(C2)、第5(S2)、及び第6(S3)の歯車要素は、それぞれ、衛星歯車キャリア、前記第2の衛星歯車の組(104)の太陽歯車、及び前記第3の衛星歯車の組(106)の太陽歯車であり、

前記第7(C3)、第8(C4)、及び第9(R4)の歯車要素は、それぞれ、前記第3の衛星歯車の組(106)の衛星歯車キャリア並びに第4の衛星歯車の組(100)の衛星歯車キャリア及びリングギヤであり、

前記第10(S4)、第11(R3)、及び第12(R2)の歯車要素は、それぞれ、前記第4の衛星歯車の組(100)の太陽歯車、前記第3の衛星歯車の組(106)のリングギヤ及び前記第2の衛星歯車の組(104)のリングギヤであり、

前記油圧伝導ユニット(4)は、

前記第1の機械的入力への接続を推進する入力シャフト(22,74)と、

軸線を有し、油圧出力が引き起こされる出力シャフト(20,74)と、

前記入力シャフトによって駆動される流体力学的ポンプユニット(72)と、

固定された流体力学的モータユニット(78)と、

くさび状の斜板(83)であって、該斜板のポート(84a)を通して作動流体が前記流

体力的ポンプとモータユニットとの間で大量に循環するのを調整するために、該斜板が動作可能に配置されており、該斜板は前記出力シャフトとトルク結合関係に接続されていて、さらに、該斜板の角度の連続範囲にわたって、前記出力シャフトと直交するように横切る旋回軸線の周りに、その角度が調整可能であるくさび状の斜板(84)と、

前記トランスミッションコントローラ(70)によって操作されて前記斜板の角度の範囲の中で前記斜板を旋回し、それにより、1:0から1:1までのトランスミッション比の範囲にわたって前記流体力学的パワーユニットにストロークを与える比率制御器と、
を備えるトランスミッション。」

[訂正の理由等]

(訂正の理由1)

誤訳訂正 1 による訂正は、PCT出願明細書(PCT34条補正後の明細書)25項19行の"..., pumped exchanges of pressurized hydraulic fluid between the hydraulic pump 72 and motor 78 units through swashplate ports 84a ..."の誤訳を訂正する補正である。

誤訳訂正前の翻訳、「油圧ポンプ 72 とモータ 78 ユニットの間の斜板ポート 84a を通る加圧された流体のポンピングされた交換分は、」において、"pumped"に対する翻訳「ポンピングされた」と、"exchanges"に対する翻訳「交換分」は必ずしも適切な翻訳とはいえないため、全体的に意味が不明確となっている。

ここで、"pump"には、大量に供給されるという意味があり、(訂正の理由1に必要な資料「英辞郎 on the WEB」の該当箇所[他動-5]参照)、本願においても、PCT34条補正後の明細書25ページ5行ないし33行の記載全体から合理的に考えると、加圧された流体が「大量に」斜板のポート(84a)を通して「供給される」ことを意味すると解するのが適当である。

また、"exchange"には、「やり取り」という意味があり、(訂正の理由1に必要な資料「英辞郎 on the WEB」の該当箇所[名-3]参照)本願においても、PCT34条補正後の明細書25項5行乃至33行の記載全体及び一般的な油圧伝

導ユニットの構造から考えると、加圧された流体が、斜板のポート(84a)を通してモータ78ユニットに流れ込み、再び油圧ポンプ72に戻ってくるという、流体の循環を意味すると解釈するのが妥当である。すなわちここでは、加圧された流体が、油圧ポンプ72とモータ78ユニットとの間でやり取りされる(循環する)ことを意味すると解される。

以上のように"pumped"と"exchanges"の意味を解釈し、この部分の翻訳を「斜板のポート(84a)を通して加圧された流体が油圧ポンプ72とモータ78ユニットとの間で大量に循環することは、」と訂正する。

(訂正の理由2)

誤訳訂正2による訂正は、PCT出願明細書(PCT34条補正後の明細書)25項22行の"...produce a resultant torque on the swashplate 84 that is coupled to the output shaft 76 by coupling 86 as output hydrostatic torque."の誤訳を訂正する補正である。

誤訳訂正前の翻訳、「出力の油圧トルクとして、カップリング86によって出力シャフト76に結合されるような斜板84に合成トルクを生じさせる。」において、"as output hydrostatic torque"の翻訳「出力の油圧トルクとして」の意味が不明確になっているので、この部分を「油圧によるトルク出力として」とするとともに、わかりやすいように言葉を並び替え「カップリング86によって出力シャフト76に結合されている斜板84に、油圧によるトルク出力として、合成トルクを生じさせる。」と訂正する。

(訂正の理由3-1)

誤訳訂正3による補正は、請求項2乃至5をまとめて請求項2として請求項1の従属項とし、請求項6乃至8をまとめて請求項3として請求項2の従属項とし、請求項9及び10をまとめて請求項4として請求項1の従属項とし、請求項11を請求項5として請求項1の従属項とし、請求項12乃至14をまとめて請求項6として請求項2の従属項とし、請求項15を請求項7として請求項2の従属項とし、請求項16を請求項8として請求項1の従属項とし、請求項17及び18をまとめて請求項9として請求項1の従属項とし、請求項19及び20をまとめて請求項10として請求項9の従属項とする補正である。

(訂正の理由 3-2)

誤訳訂正 3 による請求項 1 の補正は、P C T 3 4 条補正後の明細書 3 3 項の請求項 1 における、"operatively"の誤訳を訂正する補正である。誤訳訂正前の翻訳「機能的に」の意味は、具体的ではない。一方、"operatively"には、「動作可能なように」（訂正の理由 3-2 に必要な資料「英辞郎 on the WEB」の該当箇所[副参照]）という意味があるので、「(制御のための) 動作が可能なように」と誤訳訂正する。

(訂正の理由 3-3)

誤訳訂正 3 による（補正後の）請求項 7（旧請求項 1 5）の補正は、P C T 3 4 条補正後の明細書 3 8 項の請求項 1 5 における、"A wedge-shaped swashplate (84) operatively positioned to accommodate pumped exchanges of hydraulic fluid between the hydraulic pump and motor units through ports (84a) in the swash plate, the swashplate connected in torque-coupled relation (86) with the output shaft and adjustable about a pivot axis, intersecting the output shaft in orthogonal relation, through a continuous range of swashplate angles; and"の誤訳を訂正する補正である。

誤訳訂正前の翻訳「くさび状の斜板(84)であって、該斜板が、前記油圧ポンプとモータユニットとの間で該斜板のポートを通る作動流体のポンピングされた交換分を収容するように機能的に配置されており、該斜板は前記出力シャフトとトルク結合関係に接続されていて、さらに、該斜板の角度の連続範囲にわたって、前記出力シャフトと直交するように横切って、旋回軸線の周りに調整可能であるくさび状の斜板(84)と、」において、"operatively"に対する翻訳「機能的に」、**"accommodate"**に対する翻訳「収容する」、**"pumped"**に対する翻訳「ポンピングされた」及び**"exchanges"**に対する翻訳「交換分」は必ずしも適切な翻訳とはいえないため、全体的に意味が不明確となっている。

ここで、**"operatively"**は、（訂正の理由 3-2）に示した理由により「動作可能なように」を意味し、**"pumped"**及び**"exchanges"**は（訂正の理由 1）に示した理由により、それぞれ「大量に供給された」及び「循環」を意味すると解される。

また、**"accommodate"**には、「(不一致・相違・差異などを) 調整する」という意

味があり（訂正の理由 1 に必要な資料「英辞郎 on the WEB」の該当箇所〔他動－6〕参照）、ここでは、「（流体の循環量等を）調整する」ことを意味すると解される。

さらに、"intersecting the output shaft in orthogonal relation, through a continuous range of swashplate angles"は、"a pivot axis"を修飾していると考えられる。

以上を考慮し、この部分を「くさび状の斜板(84)であって、該斜板のポート(84a)を通して作動流体が前記流体力学的ポンプとモータユニットとの間で大量に循環するのを調整するために、該斜板が動作可能に配置されており、該斜板は前記出力シャフトとトルク結合関係に接続されていて、さらに、該斜板の角度の連続範囲にわたって、前記出力シャフトと直交するように横切る旋回軸線の周りに、その角度が調整可能であるくさび状の斜板(84)と、」と誤訳訂正する。

（訂正の理由 3－4）

誤訳訂正 3 による（補正後の）請求項 10（旧請求項 20）の補正は、PCT 34 条補正後の明細書 41 項の請求項 20 における、"A wedge-shaped swashplate (84) operatively positioned to accommodate pumped exchanges of hydraulic fluid between the hydraulic pump and motor units through ports (84a) in the swash plate, the swashplate connected in torque-coupled relation (86) with the output shaft and adjustable about a pivot axis, intersecting the output shaft in orthogonal relation, through a continuous range of swashplate angles; and"の誤訳を訂正する補正である。

ここでは、（訂正の理由 3－3）に示した理由と同じ理由により、この部分を「くさび状の斜板(84)であって、該斜板のポート(84a)を通して作動流体が前記流体力学的ポンプとモータユニットとの間で大量に循環するのを調整するために、該斜板が動作可能に配置されており、該斜板は前記出力シャフトとトルク結合関係に接続されていて、さらに、該斜板の角度の連続範囲にわたって、前記出力シャフトと直交するように横切っている旋回軸線の周りに、その角度が調整可能であるくさび状の斜板(84)と、」と誤訳訂正する。

（訂正の理由 3－5）

誤訳訂正 3 による請求項 1 の補正は第 2 及び第 3 の衛星歯車の組に対応する記号(16,18)及び、第 1、第 2 及び第 3 の衛星歯車の組に対応する記号(102,104,106)を、P C T 3 4 条補正後の明細書 3 3 項の請求項 1 の記載にあわせて、追記したものである。

添付書類の目録

訂正の理由の説明に必要な資料

物件名

英辞郎 on the WEB 当該ページのコピー

英辞郎 on the Web
data by EDP

• pump

【レベル】3、【発音】pʌ'mp、【@】パンプ、ポンプ、【変化】《動》pumps | pumping
| pumped

【名-1】ポンプ、揚水機 {ようすいき}

【用例】・ They used a pump to get the water out of the basement. : 彼らはポンプを使って地下から水を汲み上げた。

【名-2】心臓 {しんぞう}、人工心臓 {じんこう しんぞう}

【名-3】誘導尋問 {ゆうどう じんもん}

【名-4】ガソリンスタンド、ガソリンスタンドの給油機 {きゅうゆき}

【名-5】《理工》ポンプ、ポンプ作用 {さよう} ◆

高レベル状態への電子原子分子のポンピング (レーザなど)。Na, K などの細胞膜ポンピング (ナトリウムポンプなど)

【名-6】《建築》ポンプ支柱 {しちゅう}、自在支柱 {じざい しちゅう} ◆

長さを加減できる

【名-7】性器 {せいき}

【自動-1】ポンプを使う、ポンプで汲み上げる

【自動-2】ポンプのように動く、上下運動 {じょうげ うんどう} する、前後運動 {ぜんご うんどう} する、往復運動 {おうふく うんどう} する、せっせと働く、せっせと小刻みに進む、セックスする

【自動-3】情報 {じょうほう} を探り出そうとする、誘導尋問 {ゆうどう じんもん} する、かまをかける、誘いをかけて聞き出す

【自動-4】噴出 {ふんしゅつ} する、(ドット) 流れる、ほとばしり出る ◆

【同】spurt

【自動-5】膨張 {ぼうちょう} する、膨らむ

【自動-6】おならをする、屁をこく ◆

【同】fart / break wind

【他動-1】～をポンプで汲み上げる

【他動-2】～をポンプで注入 {ちゅうにゅう} する、送り込む、ポンプで～に空気 {くうき} を入れる

【用例】・ Blood is pumped to all parts of the body by the heart. : 血液は心臓によって体のあらゆる場所に送られている。

・ The heart pumps the blood through the lungs. : 心臓は肺に血液を送り出している。

【他動-3】 ポンプで～から水を汲み出す

【他動-4】 ～を（ポンプのように）上下運動 {じょうげ うんどう} させる、前後運動 {ぜんご うんどう} させる、往復運動 {おうふく うんどう} させる

【他動-5】 ～を大量 {たいりょう} に供給 {きょうきゅう} する、(大量 {たいりょう} に) つぎ込む、(いっぱい) 投入 {とうにゅう} する、浴びせる

【他動-6】 ～を聞き出す、しつこく聞く

【他動-7】 ～を膨張 {ぼうちょう} させる、膨らませる

英辞郎 on the Web
data by EDP



- **operatively**

【副】 動作可能 {どうさ かのう} なように

英辞郎 on the Web

data by EDP

accommodate

【レベル】6、【発音】ə kə'mə de'it、【@】アコモデイト、【変化】《動》accommodates

| accommodating | accommodated

【自動-1】 適合 {てきごう} する、適応 {てきおう} する、対応 {たいおう} する、順応 {じゅんのう} する

【自動-2】 (水晶体 {すいしょうたい} が) 遠近調節 {えんきん ちょうせつ} をする

【自動-3】 和解 {わかい} する、同意 {どうい} する

【他動-1】 (人) に必要 {ひつよう} なものを提供 {ていきょう} する [供給 {きょうきゅう} する・貸す・融通 {ゆうずう} する]、～に生活 {せいかつ} [滞在 {たいざい}] するための場所 {ばしょ} を提供 {ていきょう} する、～を泊める

【他動-2】 ～のために便宜 {べんぎ} を図る、～の世話 {せわ} をする、～に親切 {しんせつ} にする

【他動-3】 (人) を入れる [収容 {しゅうよう} する] ための場所 {ばしょ} [スペース] がある、～を収容 {しゅうよう} できる [宿泊 {しゅくはく} させられる・乗せられる]

【用例】 ・ This car that can accommodate eight people is made in Japan. : 8人を収容できるこの車は、日本製だ。

・ The interior space easily accommodates five adults. : (この車は) 大人5人がゆったりとくつろげる室内空間を確保しています。

・ This hotel can accommodate 3,000 guests. : このホテルには3000人が宿泊できる。

【他動-4】 (人) を (～に) 適応 {てきおう} させる

【他動-5】 順応 {じゅんのう} する、合わせる◆

【用法】 accommodate oneself to

【他動-6】 (不一致 {ふいつち} ・相違 {そうい} ・差異 {さい} など) を調整 {ちょうせい} する

【用例】 ・ We can accommodate each other's differences. : 私たちはお互いの相違を調整することができる。

【他動-7】 (対立 {たいりつ} など) を和解 {わかい} させる、調停 {ちょうてい} させる